

進路だより

令和3年7月9日発行

岩手県立釜石祥雲支援学校

進路指導部

中学部 前期校内実習

6/7(月)～6/18(金)の2週間、中学部の前期校内実習が行われました。

実習とは？なぜするの？

1時間目から6時間目まで作業に取り組みます。一日仕事をする体験をして、働く練習を行います。高等部になると校外での実習になるため、中学部では校内で実習を行い、働くことの基礎を学習します。

どんなことするの？

家庭班と紙工班に分かれ、それぞれの班で製品作りに取り組みます。作った製品は、実習最終日の販売会で職員や保護者の方に販売します。

朝の会や帰りの会を行わず、朝礼や終礼で体調や作業の取り組みを確認します。

実習前には結団式を行い、団結力を高めます。実習後は報告会を行い、頑張りを褒めます。

家庭班



さしこやさきおりでランチョンマットやコースターなどを製作しました。集中力が必要な作業です。



製品が完成すると出来高表に記録します。



重複学級は時間を決めて短期集中で作業しました。

紙工班



紙すきでポチ袋やメモ帳などの紙工製品を作りました。流れ作業なので声を出し、協力して作業します。



ごみや色混じりがないか厳しくチェックします。



質のいい製品をめざし、丁寧に作業しました。

販売会



仕事をする楽しさや大変さを学びました。

朝礼



毎朝ラジオ体操をします。働くための準備です。

結団式



作業内容や目標を発表します。

報告会



作った製品数や目標の振り返りを発表します。

高等部

前期実習

6月14日～25日の2週間、高等部前期校内・現場実習を行いました。

1年生は校内実習に取り組みました。「来年の現場実習にむけて集中し、けがなく作業する」「協力して時間いっぱい作業する」を目標に、釜石球技場の環境整備、巾着作り、すいひ作業、紙ちぎり作業を行いました。高等部に入学して初めて終日作業に取り組み、体力的にも精神的にも大変な時もあったと思いますが、働くために必要な力や仲間と協力する大切さ、挨拶やマナーなどの基礎を身に付けることができました。

2、3年生は近隣の事業所で現場実習をさせていただきました。2年生は初めての現場実習で緊張した様子でしたが、無事2週間を終えることができました。3年生は卒業後を見据え、自分自身の適性について考えたり、今後の課題が見えたりと有意義な実習となりました。この経験を次のステップへ繋げていくことができるように学校生活の中でも取り組んでいきましょう。

☆校内実習☆



釜石球技場環境整備



巾着づくり



すいひ作業



紙ちぎり作業

☆現場実習☆



※ 紙面の都合により全員を掲載することができませんでした。

他の生徒の様子は、後期現場実習後の進路だよりに掲載いたします。



小・中学部 進路学習会

6月21日（月）と30日（水）に小・中学部の保護者の方対象で進路学習会が行われました。

中学部での内容は、①高等部に進学するまでの流れ、②高等部での学習の様子、③高等部を卒業してからの生活についてでした。また、小学部での内容は、①中学部での学習について、②中学部作業学習の見学、③高等部での学習や高等部卒業後の生活についてでした。

小学部や中学部のうちは、進路が縁遠いものと感じることもあるかもしれませんが、「進路は高等部に進学してから決めるもの」と思ってしまいがちですが、それは間違いです！「高等部に進学する前までにできるようにしてほしいこと」について内容の一部を紹介します。

①体力を付けること

働く上で最も大切なのが体力です。

仕事に「集中する」にも、実は体力が必要です。いろいろな力を持っていても体力がないと十分に発揮できません。そのためは、小さい頃からきちんと食事を摂り「身体作り」をすることが大切です。



②基本的な生活習慣を確立すること

決まった時刻に起きて、決まった時刻に寝ることです。

遅れて登校することなく、時間いっぱい学習活動することで疲れを感じ、心地よく眠ることができるでしょう。子どもの実態によって、焦らずにコツコツとじっくり取り組みましょう。



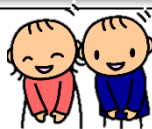
③コミュニケーションの取り方

他の人と良い関係を築くために欠かせないのが

コミュニケーションですが、そのためには「挨拶」ができることです。

学校の中ではできても、初めての場面だと緊張して難しくなります。

元気な挨拶ができるよう日頃から練習しましょう。



実は、進路は、

毎日の生活そのものです。

今一度、毎日の生活を大切にしましょう！



中学部の作業学習で作っているものを紹介してくれました！



質問コーナー

～保護者の皆さんから寄せられた質問にお答えします～

沢山お待ちしております。



高等部卒業後、作業所等へ行っている人で、15:30～16:30ぐらいに送迎で家に帰り、**親がおらず留守番して一人**いるとか、夕方までサービス利用している人はいますか？



ここ2年の間では、いらっしゃいません。**個人のケースで相談することが必要になります。**高等部3年生になると、卒業後のことを念頭において**移行支援会議**を行います。そこで、必要なサービスの確認をし、相談支援専門員さん市役所・事業所に相談していくことになります。

例えば、日中に就労継続支援B型や生活介護を利用している方が、その後、何らかの支援を受けたいということであれば利用は可能と思われます。その場合、日中一時支援、地域活動支援Ⅰ型、Ⅱ型などが考えられます。個々の状況によりどのサービスを利用するかは違ってくると考えられます。サービスの中身も大事ですが、終了時間が問題ではないでしょうか。事業所の終了時間はまちまちで、16:30から18:00までと開きがあるようです。

上記のサービス以外であれば、泊を伴うショートステイ(短期入所)もあります。

* * * 事業所見学 * * *

中学部

6月23日(水)と24日(木)に事業所見学が行われました。

23日は、釜石市福祉作業所とまごころ就労支援センター
に行き、作業している様子を見学しました。実際に働いて

いる人を見学することで、仕事の種類や働くときの態度や姿勢を学ぶことができました。

24日は、重複学級の生徒が大船渡にある吉浜荘を見学しました。事業所の説明をしてもらったあと施設の中を見学し、どのような設備があるのかをしっかりと見てきました。

昨年度はコロナウィルス感染症のため実施できませんでしたが、実際に見学することで生徒たちは将来の生活を少しずつイメージすることができていました。

まごころ就労支援センター



ぶどう畑での農作業や手芸作業、部品の袋詰めなどの作業を見学しました。

釜石市福祉作業所



部品の組み立て作業やラベル貼りの作業を見学しました。細かい部品を正確に仕上げていました。

吉浜荘



施設内は広々として温かい雰囲気でした。季節の行事や作品づくりなど楽しいことがたくさんあることも教えてもらいました。

高等部

6月2日(水)、2年生は「釜石市福祉作業所」と「夢工房・カトレア」(遠野市)の事業所見学に行きました。初めての現場実習が始まる直前ということもあり、見学する姿はとても真剣でした。本校高等部出身の先輩が生き生きと働く姿に、自分の将来について深く考えることができた様子でした。

6月4日(金)、1年生は「ワークフォローおおつち」の事業所見学に行きました。仕事の様子を熱心に見学し、全員が質問を行うなど意欲的な姿が多く見られました。午後は「まごころ就労支援センター釜石」を見学する予定でしたが、大雨と強風のため残念でしたが中止しました。



釜石市福祉作業所、夢工房カトレア

ワークフォローおおつち